RECON JET
取扱説明書

recon

Assembled in USA

安全にご使用いただくために

安全上のご注意
RECON JETのご使用前にお読みください

Jetはスポーツシーンやフィットネスシーンがさらに魅力的になるようデザインされています。使用方法が（例えば、自転車走行中に道路への注意を怠るなど）不適切な場合は、Jetが原因で物的損害や重度のケガ、死亡につながる事故が発生することがあります。常に道路に注意を払ってください。Jetディスプレイに集中して周囲が目に入らなくなり、注意散漫にならないようにしてください。安全にライディングをお楽しみください。Jetをご使用になる前にこれらの警告をお読みいただいて、内容をご理解いただくようお願いします。Jetの安全な使い方について、不明点やご質問がある場合はReconカスタマーセンター※までお電話ください。

1. 注意散漫にならないでください。常に道路を見てください。Jetディスプレイはあなたの右目のすぐ下にありますが、ディスプレイをずっと見続けながら道路上のすべてのものを見てもよいということではありません。ディスプレイに集中すると、自動車や道路に散乱する石などの危険要因に気づかず、事故を避ける能力があるにもかかわらず避けきれない場合があります。Jetディスプレイとそれに表示される情報は、すばやく視認できるよう設計されています。自動車のダッシュボードやバックミラーを確認するのと同じように、Jetディスプレイをちらっと見るだけにして、道路交通や他の危険要因に対して安全な状態であると確信している場合にのみ見るようにしてください。

Jetは、サイクリングメーターやウェアラブル端末とは異なるタイプの情報を表示します。例えば、Jetはアクティビティ中にメッセージや警告を表示することがあります。さらに、サードパーティが開発したJetアプリでは、Eメール着信通知などの機能が加えられていることもあります。これらの情報に注意を向けてしまうと、あなたの安全だけでなくあなたの周囲にいる人たちの安全も脅かされることにご注意ください。良識的に判断し、Jetディスプレイではなくあなたの周囲に注意を向けてください。

Jetのマップやナビゲーション機能で注意を道路からそらさないようにしてください。これらの機能はさっと見るだけにして、アクティビティ中にスタートさせたりじっくり見たりすることはやめてください。常に周囲に注意を払ってください。マップやその他の機能を確認したい場合は、安全な場所で停止し、あなたとあなたの周囲にいる人たちの安全を確保してから行ってください。

2. 注意力のトンネル化が生じます。注意力のトンネル化とは、脳が入力情報に集中して他のことを締め出してしまう現象です。例えばJetディスプレイに注意が集中すると、たとえ目が他の入力情報として対向車などを見ていても、脳がその情報を無視する原因となりかねません。注意力のトンネル化が原因で、危険を見逃したり反応時間が遅れたりする可能性があります。注意力を道路に集中させ、あなたが自動車や他の危険要因がなく安全だと判断したときに一瞬すばやくディスプレイを見るようにすることで、注意力のトンネル化を防止しましょう。

3. 反応時間が長くなります。ディスプレイを見るのがほんの一瞬でも、危険に気づいて反応するまでの時間は長くなります。通行車両や歩行者、道路の危険要素がないことを確認できる場合にのみ、ディスプレイをさっと見るようにしてください。

4. 盲点ができます。Jetディスプレイはあなたの右目のすぐ下にあるので、ちょっと見るのに適しています。けれども、ディスプレイがあなたの視界に盲点を作ってしまうことを忘れないでください。Jetディスプレイの位置を意識するようにし、盲点に危険要因が隠れていないか確認を怠らないようにしてください。

顔の右側にあるデザインであるため、右の方を見る場合にJetディスプレイがあなたの視界に影響します。車両が左側通行の国では、あるいは車両が右側を通行している状況にユーザーが遭遇した場合、肩越しに振り返って危険を確認する際、特に盲点を意識する必要があります。

5. 周辺視野が縮小します。 Jetのバッテリーとエンジンが周辺視野を狭め、背後やサイドから近づいて来る危険要因を視認する能力を損なう可能性があります。このような危険があることを自覚し、それに対応して危険要因を確認するようにしてください。

6. Jetはセーフティゴーグルではありません。Jetのレンズは耐衝撃性を備えていますが、すべての衝撃からあなたを守ってくれるわけではありません。目を保護する必要のある、あるいは目の保護が推奨されているアクティビティに参加される場合は、Jetを使用しないでください。そのような場合は、認定されたセーフティゴーグルをご使用ください。

7. 顔面を負傷する危険があります。Jetに衝撃力が加えられると、顔面を負傷する危険があります。このことはアイウェアや顔面に装着するデバイスすべてに該当します。このような危険にご留意ください。

8. サイクリング時、両手は常にハンドルにおいてください。両手が常にハンドルを握り、いつでも自転車を制御できるようにしてください。ライディング中にJetをいじって操縦がおろそかになり、事故を招かないようにしてください。ライディング中にハンドルから手を離して調整しなくても希望の情報をJetが表示するよう、ライディングの前にお好みの設定に調整しておいてください。ライディング中に設定を変えたりJetで情報のやりとりが必要になった場合は、安全な場所に停止してから行ってください。

9. 適切なヘルメットを着用してください。頭部を保護してください。適切なサイズの、頭部にフィットするヘルメットを着用してください。Jetが正しくフィットし、ヘルメットの邪魔になっていないか（あるいはその反対も）確認してください。ヘルメットの着用が不適切である場合、事故の際にヘルメットの頭部保護機能が損なわれる場合があります。正しくフィットするよう、ヘルメットメーカーの指示を守ってください。

10. 乗り物酔い。他の人と比べて乗り物酔いになりやすい方がいらっしゃいます。まれに、ディスプレイを一瞬見るだけで、吐き気やめまい、あるいは他の不快な症状が出る場合があります。これらの症状をどれか一つでも経験された場合は、Jetの使用を中止してください。

11. 過熱。Jetは普通に使用している限り、過熱したり不快に感じるような熱を発生したりすることはありません。Jetが不快に感じる熱を発生したり、普段より熱いと感じる場合は、使用を中止してReconカスタマーセンターにお問い合わせください。過熱した電子機器を着用すると皮膚が損傷を受ける場合があります。

12. バッテリーを過充電しないでください。Jetのバッテリーを過充電しないでください。バッテリーを過充電するとバッテリーが損傷し、出火したり破裂したりすることがあります。正しいバッテリー充電について、取扱説明を注意深く読んでください。バッテリーが見たところ明らかに損傷している場合、あるいは充電中に過熱する場合は、直ちにJetの使用を中止して充電器のプラグをコンセントから抜いてください。

13. 液漏れしているバッテリーは使用しないでください。バッテリーに穴があいたり損傷していると液が漏れることがあります。液漏れすると出火したり、加圧ガスが急速に漏れ出たりするおそれがあります。バッテリーの損傷に気づいたら、Jetの使用を直ちに中止してください。バッテリーを交換または修理するまで、Jetを使用しないでください。

14. 感電を防止してください。電気製品の水ぬれは禁物です。Jet、USBケーブル、ACアダプター、PC、そしてあなた自身が水にぬれていない、乾燥した状態である場合にのみ、Jetを電源やPCに差し込んでください。あなた自身やコンポーネントがぬれている場合、感電する可能性があります。感電によってケガをしたり死亡するおそれがあります。

15. プラスチックアレルギー。プラスチックアレルギーをお持ちの場合、Jetの表面に使われているプラスチック（フレーム、イヤーステム、ノーズピース、電子回路、バッテリーモジュールを含む）によってアレルギー反応が起こったり皮膚刺激によってかぶれたりする場合があります。プラスチックアレルギーをお持ちの場合は、Jetを使用する前に主治医にご相談ください。Jetの使用中にアレルギー反応が起こった場合は、直ちに使用を中止して主治医の診察を受けてください。

16. 視野闘争。Jetディスプレイがイメージを表示するのは片方の目だけです。ディスプレイを長時間見ていると「視野闘争」が起こる場合があります。これは眼精疲労として現れる症状です。スクリーンを見る時間は一瞬にしてください。スクリーンをじっと見つめないでください。眼精疲労や不快感を感じた場合は、直ちにJetの使用を中止してください。そのような状態が継続する場合は、医師にご相談ください。

17. 不必要なリスクをおかさないでください。ご自身の責任でJetをお楽しみください。パフォーマンスデータやアクティビティ情報にすぐにアクセスできることでモチベーションが高まります。ご自身の責任でモチベーションとエクササイズを管理してください。すべての交通規則と速度制限を守ってください。違法にあるいはみだりにリスクをおかなさいでください。常にコントロールを怠らないでください。あなたの周囲、あなた自身、そして他の人々の安全に注意してください。ご自身の責任でJetの使用を誤った場合、事故が起こったり、あなたや他の人々がケガをしたり死亡したりするおそれがあります。

※Reconカスタマーセンター
TEL：03-6759-9771
受付時間：平日10:00～18:00　（土、日曜日、祝祭日、年末年始、弊社指定休業日は休業となります）

目次

安全にご使用いただくために I

はじめに 1

JETシステムの特徴（エンジン） 1

ボックスの同梱内容 1

JETのセットアップ 2

ディスプレイの調整 3

ノーズパッドの調整 3

イヤーステムの調整 3

パーツの組立 4

バッテリー 4

レンズ 4

ノーズピース 5

メンテナンス 6

アイウェアと本体の表面 6

電気接点（銅ピンとパッド） 6

デバイスの保管 6

ご使用の前に／JETをアクティベート 6

接続する – Recon Engage 7

接続する – Recon Engageモバイルアプリ 7

ACTIVITY FEED 8

FRIEND TRACKING 8

スマートフォンとの接続 8

JETの使い方 9

特徴 9

HOMEメニュー 9

ショートカット 10

カスタマイズ 10

NEW ACTIVITYのトラッキング 10

ACTIVITY IN PROGRESSの表示と保存 11

DASHBOARDとMY APPS 11

センサー 12
ANT+ デバイスへの接続 12
トラブルシューティング 13
GPS 13
ASSISTED GPS（AGPS） 13
画面の明るさ 13
バッテリー 13
ファクトリーリセット 14
ファームウェアのアップデート 14
サポート 14
保証 14
バッテリーの廃棄について 15
デバイスについて 15
技術仕様 15
適合情報 16

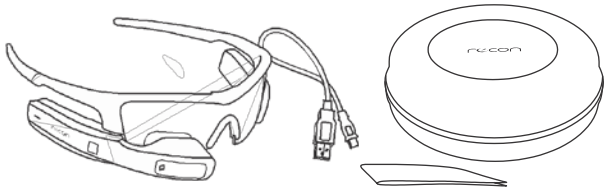
はじめに

Recon Jetはアクティブ・ライフスタイル向けスマートアイウェアです。Jetはリアルタイムですばやく簡単にそしてさりげなく、内蔵コンピューターから情報を送り、あなたの右目のすぐ下にあるワイドスクリーンに表示します。専用のウェブプラットホームとモバイルアプリを一緒に使用することで、あなたのアウトドアアドベンチャーの成果をトラッキング、比較、シェアできます。

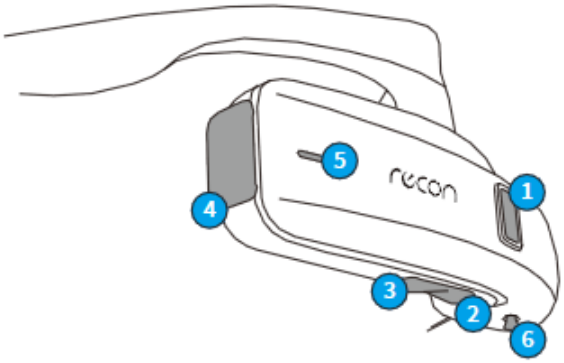
ボックスの同梱内容

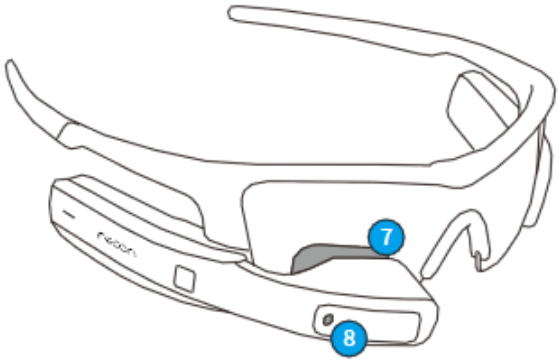
Recon Jet スマートアイウェア
同梱物：

- Jetアイウェア x 1
- Jetディスプレイ付きエンジン x 1
- Jetバッテリー x 1
- マイクロUSBケーブル x 1
- マイクロファイバークロス x 1
- 収納ケース x 1



JETシステムの特徴（エンジン）





1 タッチパッド

- タッチパッドでJetを操作します。
- タッチパッドを前後にスワイプして水平メニュー項目を操作します。
- タッチパッドを上下にスワイプして垂直メニューを表示します。

2 SELECTボタン

- SELECTボタンを使ってスクリーンとメニューを切り替えます。
- SELECTボタンを3秒間押し続けるとQuick Navメニューが開きます。

3 BACK/POWERボタン

- BACK/POWERボタンで1つ前のスクリーンに戻ります。
- BACK/POWERボタンを3秒間押し続けるとJetの電源がオンになります。7秒間押し続けるとの電源がオフになります。
- BACK/POWERボタンを3秒間押し続けるとオプションメニューにアクセスできます。

4 マイクロUSBポート

Jetのマイクロ USBポートのカバーを開け、JetをPCや充電器に接続します。

5 ステータスインジケータLED

赤色はJetが電源オフで充電中であることを示しています。白色はJetが電源オンであることを示しています。ピンク色はJetが電源オンで充電中であることを示しています。

6 ディスプレイコントロールレバー

ディスプレイコントロールレバーを使ってディスプレイを適切な位置に調整できます。

7 ディスプレイ

Jetディスプレイは約2メートル先に30インチの画面として表示されます。この画面で必要なすべての情報が一目で確認できます。

8 HDカメラ

Jetの内蔵カメラで、走りながら写真やビデオを撮影します。

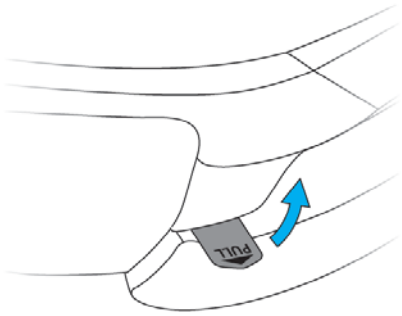
JETのセットアップ

重要

Jetを装着して初めてライディングやランニングする前に、時間を取ってJetの取扱いに慣れ、走り始めてからとまどうことのないようにしておきましょう。Jetは情報を一目でわかるように表示してくれます。情報にアクセスするときは安全な状態で行いましょう。Jetのユーザーインターフェースや、Quick Navのような機能に慣れておくことが重要です。そうすれば簡単にJetを使いこなせるでしょう。あなた自身とあなたの周囲の人々の安全のために、常に周りに注意を払ってください。

1. バッテリー保護テープを外す

Jet体験をスタートする前に、白いバッテリー保護テープを取り外してください。片方の手でJetを支えながら、もう片方の手でテープをつまみます。テープをまっすぐ上に引き上げます。

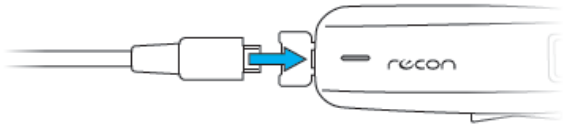


2. JETを充電する

同梱されているマイクロUSBケーブルを使ってご自分のパソコンにJetを接続します。ステータスインジケータのLEDが赤色に変わると、Jetは充電中です。Jetの充電が完了すると、LEDが消灯します。Jetの満充電には約1時間かかります。

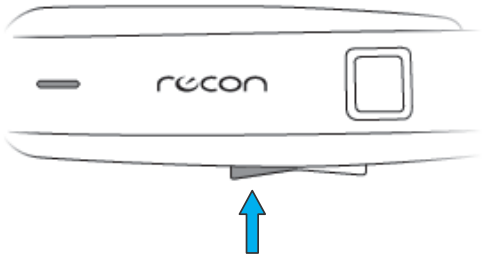
警告：

- *バッテリーまたはエンジンを取り外してJetを充電しないでください。*
- *充電後はJetのマイクロUSBポートのカバーを閉め、Jetに湿気が入り込まないようにしてください。*



3. JETの電源をオンにする

BACK/POWERボタンを約3秒間押し続け、JETの電源をオンにします。Jetのステータスインジケータ LEDが白色に変わり、約5秒後にスクリーンが作動します。



4. JETを作動させる

a. reconinstruments.com/getstarted を開きます。Recon Engageアカウントを作成し、Recon Uplinkデスクトップアプリをダウンロードし、最新のJetソフトウェアをインストールします。

b. Recon Engageモバイルアプリをダウンロードします。これでJetを体験する準備が整いました。このアプリはiOS App StoreとGoogle Playから入手できます。

5. スタートアップチュートリアルを見る

Jetを初めて使う時に、Jetの取り扱い方に関するショートビデオが映し出されます。

※ビデオは英語版です。日本語字幕版は下記ホームページのスタートアップビデオをご覧ください。

http://www.mikimoto-japan.com/recon/product/jet/

6. JETの電源をオフにする

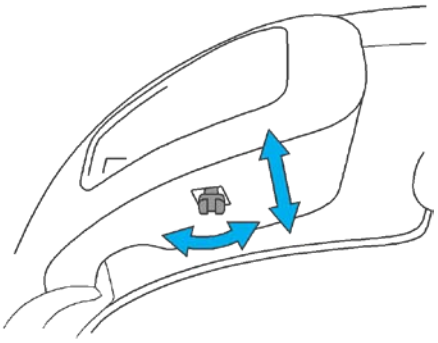
BACK/POWERボタンを3秒間押してオプションメニューを呼び出し、シャットダウンを選択してJETの電源をオフにします。Jetが電源オフになるまでBACK/POWERボタンを押し続ける方法もあります。

警告：*完全にシャットダウンする前にJetバッテリーやエンジンを取り外さないでください。Jetが完全に損傷してしまう場合があります。*

ディスプレイの調整

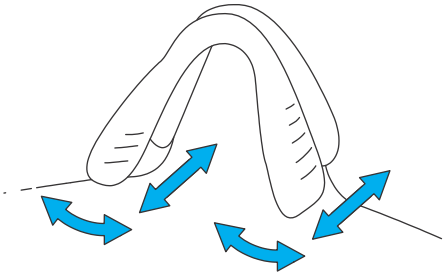
Jetディスプレイ付きエンジンの下面にはディスプレイコントロールレバーがあります。このレバーでスクリーンの見える位置を調整することができます。位置を見やすく調整する方法は下記の通りです。

ディスプレイの位置調整をする前にJetを装着し電源をオンにしてください。そしてエンジン前部を親指と人差し指でつまみ、親指がディスプレイコントロールレバーの上に来るようにしてください。ディスプレイの位置を垂直方向に動かすにはレバーを前後に動かします。映像が上下に動くはずです。また水平方向に動かすには、レバーを押さえながら回します。映像が左右に動くことが確認できます。



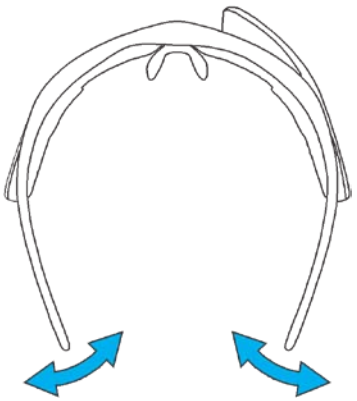
ノーズパッドの調整

Jetが顔にフィットし、ディスプレイが最適な位置に来るようノーズパッドを調整します。Jetの位置が高すぎると感じた場合はノーズパッドを広げ、低すぎると感じた場合はノーズパッドを狭めます。



イヤーステムの調整

Jetフレームのイヤーステムはソフトラバー製で、頭の輪郭に正確に合わせて調節することができ、安定した快適なフィット感が得られます。



警告：

- *度の付いたメガネをJetの下や上にかけないでください。*
- *プラスチックアレルギーをお持ちの場合は、Jetを着用する前に主治医にご相談ください。*
- *エンジンやバッテリーが直接肌に触れないようにJetを調節してください。そうしないと負傷する場合があります。*
- *レンズが壊れた状態でJetを着用しないでください。そうしないと顔面を負傷するおそれがあります。*
- *気温が極端に高い日や低い日（40°C以上、または-20°C以下）にJetを使用すると完全に損傷してしまう場合があります。*
- *Jetは雨や汗に耐える生活防水仕様ですが、完全防水ではありません。激しい雨でぬらすことは避けてください。機器が損傷することがあります。*

パーツの組立

Jetスマートアイウェアは組立済みユニットです。このセクションではJetコンポーネント（エンジン、バッテリー、レンズ、ノーズピース）の安全な取外し方を説明します。

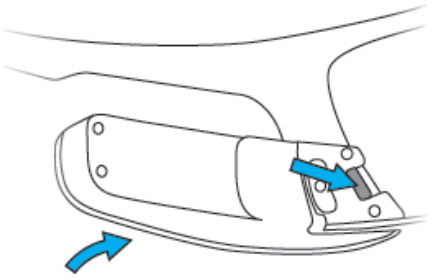
警告：*Jetエンジンやバッテリーを取り外す際、フレームや他のコンポーネントを損傷しないよう常に気をつけてください。*

バッテリー

エンジンとバッテリーの取外し

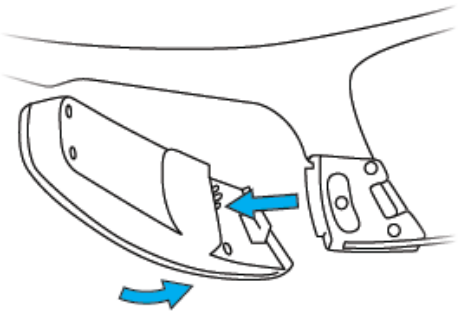
1. リリースタブを親指で前方へそっと押します。
2. リリースタブを前方へ押すと、バッテリーまたはエンジンが内側へ旋回し、フレームから外れます。

警告：*Jetの充電中にエンジンやバッテリーを外すと完全に損傷する場合があります。*



エンジンとバッテリーの再取付け

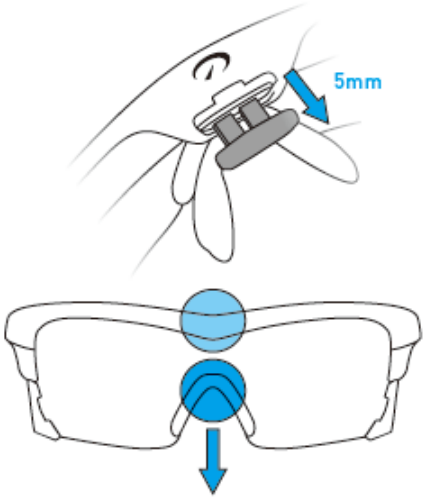
1. 片手でエンジンまたはバッテリーを持ちます。もう片方の手でフレームを持ちます。
2. エンジンまたはバッテリーの溝とフレームのリップ部を合わせます。
3. エンジンまたはバッテリーを、リリースタブが対応するフレームスリットにはまり込むまで外側へ旋回させます。



レンズ

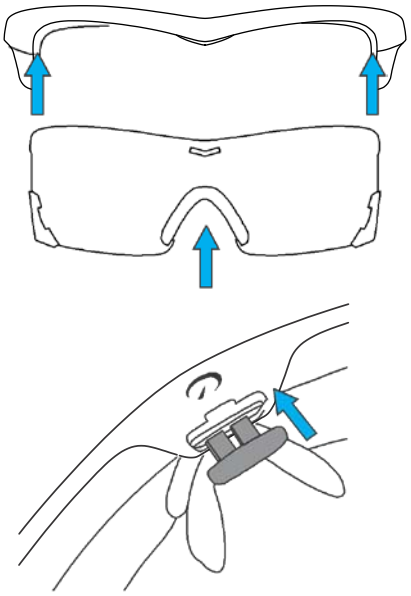
レンズの取外し

1. レンズを外す前に、Jetエンジンとバッテリーを外しておきます。（上記を参照）。
2. Jetフレームの中央にリリースタブがあります。指の爪でリリースタブを後方へ最後までそっと引き出します。こうするとレンズリリース機構が開きます。
3. フレームの中心を片方の手で持ちます。もう片方の手でノーズピースとノーズブリッジをつかみ、下方へ引いてレンズをフレームから外します。レンズの取外しがうまくいかない場合は、リリースタブが完全に引き出されているか確認します。



レンズの交換

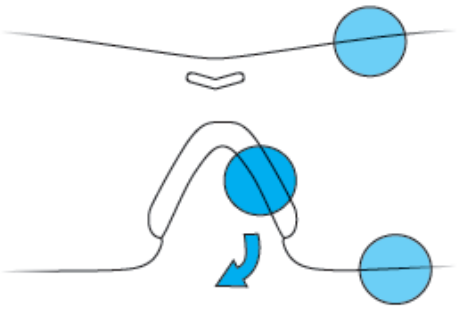
1. Jetのレンズリリースタブが完全に引き出されていることを確認します。
2. 自分に近い側から、レンズをJetフレームに差し込みます。必ずまず片側だけを差し込み、次にレンズの中央部が最後まで入っていることを確認してから、もう片方を差し込みます。
3. 電気回路が外れないように注意してください。電気回路はレンズのエッジ部に沿って伸びています。回路がゆるんだ場合は、元の場所に押し込みます。
4. フレームと同じ面になるまでリリースタブを押し込み、レンズをロックします。



ノーズピース

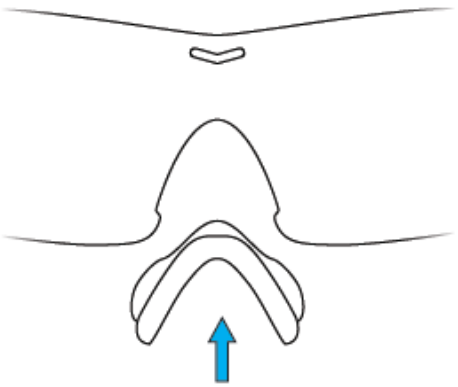
ノーズピースの取外し

1. レンズの上端と下端を挟むようにして持ちます。
2. もう片方の手の親指と人差し指でノーズピースの片側をつかみます。ノーズパッドとプラスチッククリップの両方をつかんでいるか確認します。
3. ノーズピースを回すようにして外側へ引っ張ります。



ノーズピースの交換

ノーズピースの割れ目部分とレンズ下部に合わせ、ノーズピースをそっと押し込みます。ノーズピースがパチッと、はまることをご確認ください。



メンテナンス

Recon Jetにはマイクロファイバークロスが付属しています。これはJetを保管したり汚れを拭き取ったりするために専用に作られたものです。

アイウェアと本体の表面

アイウェアと本体の表面は付属のマイクロファイバークロスで拭き取り、水で洗浄します。強力な洗浄液や洗剤液を使用しないでください。Jetを洗浄した後、換気のよい場所で乾かすか、マイクロファイバークロスで水分を拭き取ります。

電気接点（銅ピンとパッド）

レンズとバッテリーまたはエンジンとの間にある電気接点に水や湿気が入り込んだ場合は、Jetの電源をオフにしてバッテリーまたはエンジンを取外し、ティッシュペーパーや柔らかいクロスなどを接点に押し当てて拭き取ります。バッテリーまたはエンジンを取り外した状態でJetを保管し、水分を乾かします。

汚れが付着しないよう、接点を定期的に消毒用アルコールで清掃します。腐食が認められた場合は、柔らかいクロスか綿棒に消毒用アルコールをつけて拭き取ります。

注意：充電する前にも、接点を点検してください。

デバイスの保管

Jetを長期間保管する場合は、バッテリーを満充電し、フレームから取り外しておきます。Jetは常に涼しく乾燥した場所に保管します。理想的な長期保管温度は10°C～20°Cです。

警告：

- *最適でない環境でJetを保管すると、バッテリー寿命が短くなり、場合によってはJetが完全に損傷してしまいかねません。*
- *Jetは必ずオリジナルのケースに入れて保管してください。そうしないとフレームが変形する場合があります。*

ご使用の前に／JETをアクティベート

ライディングやランニングにJetを初めて使用する前に、Jetをアクティベートして Recon Engageアカウントとリンクしておく必要があります。

使用を開始するために、まずreconinstruments.com/getstartedを開きます。

以下の手順に従ってJetをアクティベートし、リンクします。

1. Recon Engageアカウントを登録します。
2. Recon Uplinkデスクトップアプリをダウンロードし、PCにインストールします。
3. Jetの電源をオンにし、MacまたはPCに接続します。
4. あなたのEngageアカウントとリンクします。Recon Uplinkの説明に従ってリンクします。
5. 最新のソフトウェアバージョンをインストールしたら完了です。

あなたのアクティビティを**Recon Engageウェブサイト**と**Recon Engageモバイルアプリ**で記録しましょう。アクティビティ履歴をチェックし、あなたの最高記録と比較しましょう。友達をトレースし、あなただけの体験をシェアしましょう。

接続する – Recon Engage

Jetを使うと、アクティビティ終了後もあなたの体験は終わりません。JetをRecon Uplinkが入っているPCに接続すると、ご自分のアクティビティをRecon Engageアカウントにアップロードできます。Engageウェブサイトではご自分のアクティビティを分析・追体験するだけでなく、シェアすることもできます。アクティビティはFacebookなどのソーシャルネットワークやStravaなどのサービスにシェアできます。

サイトengage.reconinstruments.com に詳しい情報があります。ここでアカウントを作って利用が開始できます。

システム要件

Jetのアクティベート及びソフトウェアを最新に保つために、Recon Uplinkを下記に対応したMacやPCにダウンロードしてください。

- OS X v10.8以上
- Windows 7以上

接続する – Recon Engageモバイルアプリ

さらに、JetをiPhoneやAndroidスマートフォンとペアリングして使うこともできます。Engageモバイルアプリを使ってリアルタイムで友達をトラッキングできるFriend Trackingや、テキストメッセージの表示、着信通知、アクティビティの自動アップロードなどを出先で利用できます。

EngageモバイルアプリはiOS用とAndroid用がそれぞれiOS App Store と Google Play.からダウンロードできます。

操作上の注意：JetをスマートフォンにRecon Engageモバイルアプリから接続する場合、アクティビティを開始する前に、Jetの時計が正しい時間に設定されていることを確認してください。さらにこれでAssisted GPS（AGPS）が起動し、Jetが簡単にGPSロックされます。AGPSを使用するとバッテリー寿命も延びます。

システム要件

出先で自分のアクティビティを見るには、Recon Engageモバイルアプリをスマートフォンにインストールします。Engageをサポートしているosは次のとおりです。

- Apple iPhone 4S以上（iOS 7以上）
- Android 4.1以上のAndroidスマートフォン

ACTIVITY FEED

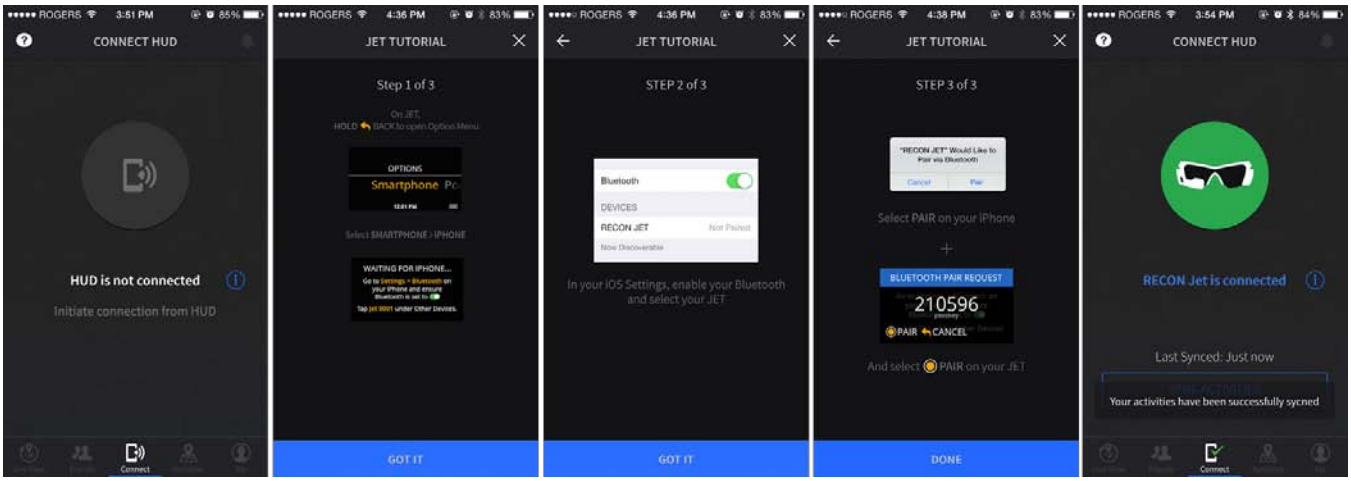
Activity Feed は、あなたの最近のアクティビティとともに友達ののアクティビティをも表示します。

FRIEND TRACKING

Live Viewから、Friend Trackingをオンにして友達の位置やアクティビティをリアルタイムで見ることができます。

スマートフォンとの接続

1. 無料のRecon Engageモバイルアプリを**iOS App Store**か**Google Play**からダウンロードします。
2. ご自分のスマートフォンでBluetoothがオンになっているか確認してください。
3. Jet側で、Quick Navメニューから**SELECT**ボタンを3秒間押し続け、その後**Smartphone**を選択します。
4. スマートフォンのタイプを選択し、画面上の説明に従ってあなたのスマートフォンとペアリングします。



スマートフォンの再接続

Jetの電源をオフにするか、または**Recon Engageモバイルアプリ** を閉じると、スマートフォンからJetの接続が外れます。

再度接続するには：

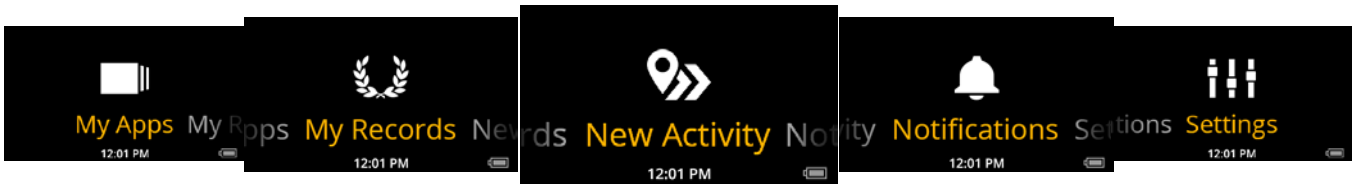
1. スマートフォンでBluetoothがオンになっているか確認してから、Recon Engageモバイルアプリを開きます。
2. Jet側で、スマートフォンメニューのReconnectを選択します。

JETの使い方

特徴

HomeメニューはJetのメイン機能のホームベースです。また、Jetには2つのショートカットメニュー、**Quick Nav**と**Options**があり、Jetの主な機能に簡単にアクセスできます。

タッチパッドを使用して次の画面をそれぞれ操作します。（詳細は以下を参照）



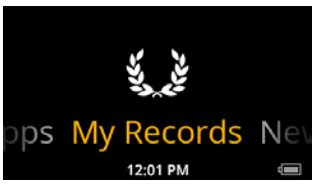
HOMEメニュー

ランニングやライディングで外出する前に、時間を取ってJetの使い方に慣れておきましょう。Jetのユーザーインターフェースは情報がひと目でわかるようになっています。常に道路やコースに集中し、Jetの画面を注視しないようにしてください。自動車のダッシュボードを見つめないのと同じように、Jetディスプレイを見つめないようにしてください。Jetのユーザーインターフェースに慣れて、画面のナビゲーションや**Quick Nav** の使い方がよくわかるようになってから、ランニングや自転車でのライディングなどに出かけましょう。

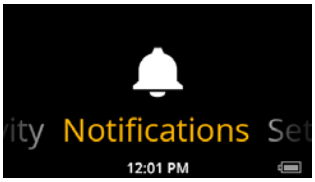
あなた自身とあなたの周囲の人々の安全のために、常にあなたの周りに注意を払ってください。

My Apps であなたのJetをパーソナライズすることができます。Music Player、Maps、Compass、Gallery、Cameraなど、あらかじめ組み込まれているアプリから始めましょう。追加のアプリ*は、サードパーティのアプリも含め、ここからアクセスできます。サードパーティアプリのダウンロード方法については、FAQをお読みください。

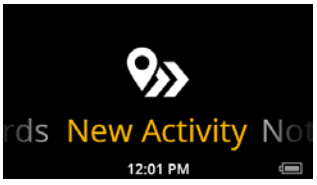
***注意：**サードパーティアプリの提供とメンテナンスの責任を負っているのは、サードパーティアプリの開発者です。



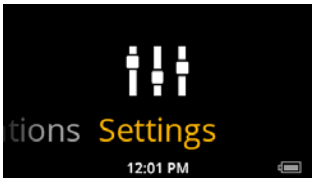
ご自分のアクティビティとベスト記録は**My Records**で見ることができます。また、ご自分の記録と位置はEngageウェブサイトとモバイルアプリでも見ることができます。



Notification Centerでは、すべてのメッセージや不在着信、その他の通知を見ることができます。



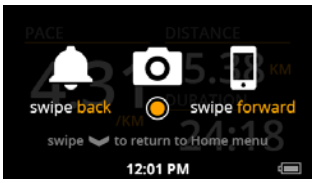
New Activityでアクティビティ（サイクリングまたはランニング）を選択し、スタートしましょう。



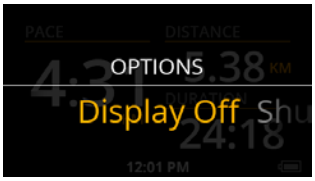
Settings では、Jetをカスタマイズできます。例えば、Glance Detection（視線検知）をオンにしたり、ディスプレイの明るさを調節したりできます。

ショートカット

これらのショートカットを使えば、カメラやスマートフォンペアリングが簡単にできます。



Quick Nav には、JetのSELECTボタンを長押しするとアクセスできます。このメニューから、カメラや通知、スマートフォンペアリングのようなよく使う機能にすばやくアクセスできます。



Options は別のショートカットメニューです。このメニューから、ディスプレイをオフにしたりJetをすばやくシャットダウンすることができます。**Options**へは、BACK/POWERボタンを長押しするとアクセスできます。

カスタマイズ

カスタマイズ可能なダッシュボード

あなたにとって最も重要な情報でJetのダッシュボードをカスタマイズできます。
Recon Engage webサイトにアクセスして、DEVICES > MANAGE HUDに進みます。 詳しい方法はFAQをご覧ください。

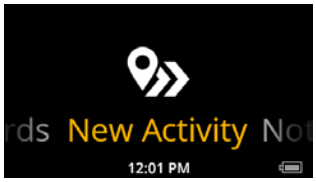
MAPS MANAGER

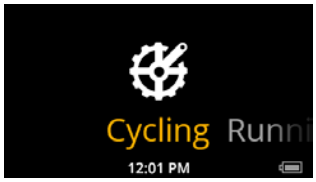
Jetでマップをカスタマイズしておくと、適時に適切な地図を見ることができます。Recon Engageウェブサイトにアクセスし、DEVICES > MANAGE HUDと進んで、希望のマップを選択します。詳しい方法はFAQをご覧ください。

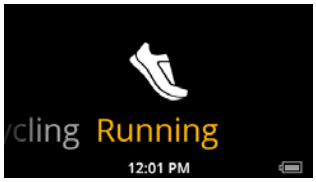
NEW ACTIVITYのトラッキング

新規アクティビティをスタートするには、**New Activity**を選択し、SELECTを押します。次に、**Running**か**Cycling**からアクティビティタイプを選びます。GPSフィックスをご自分のJetにリクエストしたことがある場合は（注意：これは屋外で行う必要があります）、SELECTを押すとアクティビティの記録が開始されます。

Jetが対応する**Running**や**Cycling**といったメトリックスを表示します。

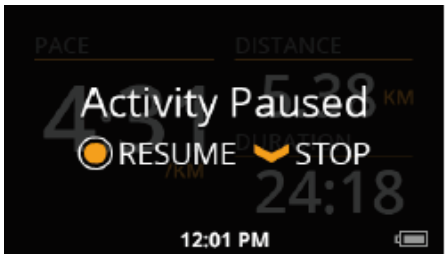


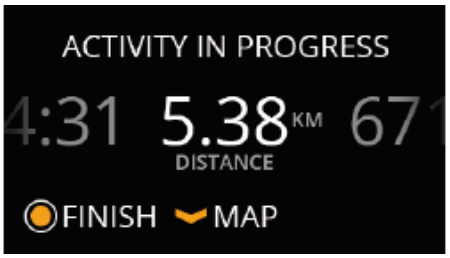


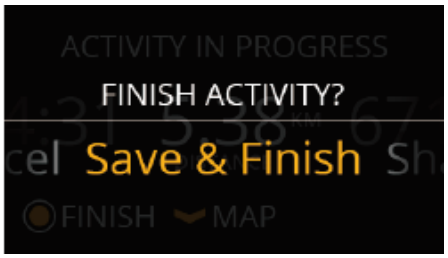


ACTIVITY IN PROGRESSの表示と保存

進行中のアクティビティを表示させる場合は、SELECTボタンを押して休止します。
アクティビティを再開するか停止するかを聞いてきます。スワイプダウンするとあなたのメトリックスが表示されます。次に、**Activity In Progress**画面を選びます。ここから、現在のアクティビティのすべてのデータを見ることができます。アクティビティを終了するには、**Activity In Progress**画面でSELECTを押します。アクティビティを終了するかどうか聞いてきます。ここでは、アクティビティのSave（保存）、Share（シェア）、またDiscard（削除）から選択できます。

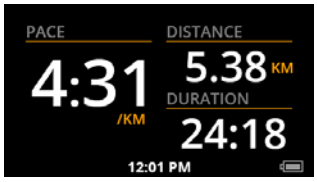






警告：Jetの作動中にバッテリーを取り外さないでください。Jetのバッテリーを交換するには、アクティビティを休止しJetをオフにしてから行います。Jetを再始動するとアクティビティを再開できます。

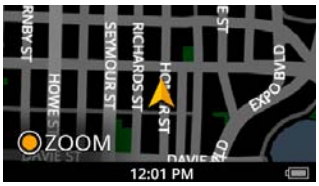
DASHBOARDとMY APPS



JetのMetrics Dashboardでは、リアルタイムで、速度、距離、タイム、パワー、ペースなどのパフォーマンス情報が表示されます。表示させるメトリックスを変更するには「カスタマイズ可能なダッシュボード」を参照してください。

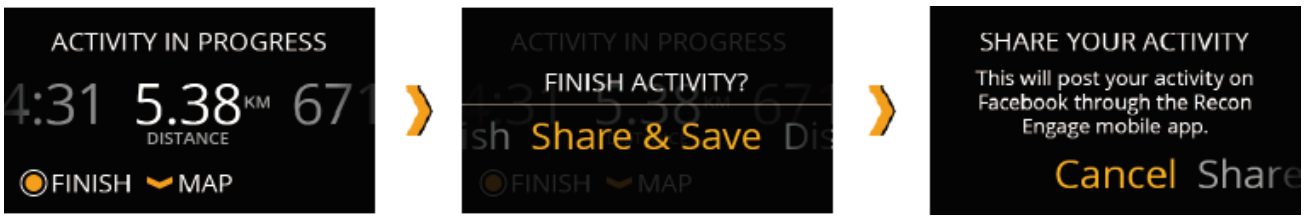
タッチパッドでスクロールダウンすると別のダッシュボードオプションにアクセスできます。

JetのCameraには、Quick Navショートカットからも、ダッシュボードのMy Appsセクションからもアクセスできます。SELECTを押すと、アクティビティ中に写真やビデオを撮影できます。



Mapsアプリで自分の位置をリアルタイムで見ることができます。
Metrics Dashboardで前方へスワイプするとMapsに進みます。FAQ にはマップをJetにダウンロードする方法が詳しく説明されています。

アクティビティが完了したら、保存してFacebookやTwitterでシェアできます。画面上の説明に従ってあなたのアクティビティをシェアしましょう。



センサー

ANT+デバイスへの接続

Jetは下記のサードパーティのANT+™ プロファイルをサポートしています。

心拍数モニタ

バイク速度

ケイデンス

バイク速度
とケイデンス

ANT+™ センサーとJetを接続するには：

1. ANT+デバイスをオンにします。

2. Jet側で：

a. Settings > Sensorsに進みます。
b. Add Sensorsを選択します。
c. 接続したいセンサータイプを選択します。
d. Sensor Found画面からセンサーを選択し、接続して保存します。
e. Metrics Dashboardに進むと、Jetは自動的にANT+ センサーに接続します。

トラブルシューティング

GPS

GPSがその機能を最も発揮するのは、屋外の空が広がって見通しのよい場所です。ビルや樹木などの障害物があると、信号が届かない場合があります。アクティビティ開始時に屋外にいる場合、Jetは自動的にGPSフィックスを行います。JetディスプレイでGPSロゴが赤色に点滅するのでわかります。GPSフィックスが完了するとロゴが塗りつぶした三角形になります。

GPSフィックスがうまくいかない場合は、次のような原因が考えられます：

- Jetが初めてフィックスを行っている。
- Jetが長期間使われていなかった。
- Jetが屋内で使用されている。
- Jetの電源をオフにしたまま長距離を移動した。

これらのいずれかに当てはまる場合は、Recon Engageモバイルアプリから Jetをスマートフォンに接続します。これによってAssisted GPSが有効になり、Jetが初期位置にフィックスされます。

ASSISTED GPS（AGPS）

Assisted GPS（AGPS）は、その地域の衛星位置を特定し、JetがGPSフィックスをすばやく完了するようアシストします。

AGPSをアクティベートするには、Recon Engageモバイルアプリから Jetをスマートフォンに接続するか、JetをPCに接続し、Recon Uplinkデスクトップアプリを起動します。

画面の明るさ

Jetディスプレイが明るすぎるか暗すぎる場合は、SettingsからDisplayへ、スクロールダウンしてBrightnessに進みます。Brightness設定画面で左右にスワイプし、明るさのレベルを調整します。

バッテリー

PCを使って充電

1. PC が起動状態で、スタンバイモードでないことを確認してください。
2. 同梱のマイクロ USB ケーブルで Jet を PC に接続します。
3. Jet のステータスインジケータ LED が赤色であることを確認します。これは Jet が充電中であることを示しています。
4. Jet のステータスインジケータ LED が消灯するまで充電します。消灯は満充電されたことを示しています。
5. PC が Jet を認識しない場合、マイクロ USB ケーブルをいったん外し、再度差し込みます。

注意：Jetは最適な環境でMacまたはPCに接続後、1時間で80%まで充電されます。

警告：

- *同梱のマイクロUSBケーブル以外のケーブルを使用すると、バッテリー寿命が短くなり、場合によってはJetが完全に使用できなくなる可能性があります。*
- *バッテリーまたはエンジンを取り外してJetを充電しないでください。そうしないとJetが完全に損傷してしまいかねません。*
- *Jetを過熱させないでください。熱暴走が生じたり破裂することがあります。*
- *極端に暑いまたは寒い環境（0°C以下または40°C以上）でJetを充電しないでください。*
- *Jetの充電後、水が入って損傷しないようにUSB保護キャップをしっかり閉めてください。バッテリーが破損または膨張しているように見える場合は、直ちにJetの使用を中止してください。*

ACアダプターを使って充電

別の方法として、出力が1A / 5VのACアダプターを使用してJetを充電することもできます。

バッテリー寿命の最大化

長時間にわたるMapsアプリの使用、カメラの使用、GPSフィックスのサーチ、一部のサードパーティアプリの使用は、Jetバッテリー寿命を短縮します。低温もJetのバッテリー寿命に悪影響を与えます。

ファクトリーリセット

ファクトリーリセットにより、Jetが記録していたすべてのデータが消去されます。ファクトリーリセットを行うと、設定が消え、すべてのサードパーティアプリがアンインストールされ、Jetが初期設定に戻ります。

注意：ファクトリーリセットを行う前に、Jetが満充電されていることを確認してください。Jetに保存しているすべてのファイルがMacまたはPCにバックアップされているか確認してください。

ファクトリーリセットの方法

ファクトリーリセットは、Jetがまったく反応せず、他のトラブルシューティングステップでも解決しなかった場合のみに行ってください。

ファクトリーリセットを実行するには、Jetの**Settings**の指示に従い、**Advanced**にスクロールダウンし、**Factory Reset**を選択します。

Settingsに到達できない場合は、下の説明に従ってハードファクトリーリセットを行います：

リセットを開始する前に、下記の説明を注意してお読みください。ハードファクトリーリセットを確実に開始するには、すべてのステップを完了しておく必要があります。いずれかのステップを失敗した場合は、最初からやり直してください。

1. Jetをシャットダウンし、USBケーブルを外します（接続していた場合）。
2. ステータスインジケータLEDが白色に点滅するまでBACK/POWERボタンを押し続けます。
3. BACK/POWERボタンから指を離し、点滅が止まるまで待ちます。
4. ステータスインジケータLEDが再度白色に点滅するまでSELECTボタンを押します。
5. SELECTボタンから指を離し、点滅が止まるまで待ちます。
6. ステータスインジケータLEDが再度白色に点滅するまでBACK/POWERボタンを押し続けます。
7. BACK/POWERボタンから指を離し、点滅が止まるまで待ちます。
8. ステータスインジケータLEDが再度白色に点滅するまでSELECTボタンを押します。ここでは点滅が速くなります。
9. SELECTボタンから指を離し、点滅が止まるまで待ちます。
10. これでJetのハードファクトリーリセットが完了しました。電源をオンにすることができます。

警告：*ファクトリーリセットを行うとJet上にあるすべてのデータが消去されます。*

ファームウェアのアップデート

MacまたはPCにJetを接続するたびに、Recon Uplinkが入手できる最新のソフトウェアバージョンに自動的にアップデートします。新たなアップデートがあるとRecon Uplinkが通知してくれます。

サポート

サービスとサポート、チュートリアル、FAQについては、http:/www.mikimoto-japan.com/recon/をご覧いただくか、Reconカスタマーセンターにご連絡ください。

保証

Jetの保証に関する契約条件は、www.reconinstruments.com/warrantyに掲載されています。

バッテリーの廃棄について

Jetの電源はリチウムイオンバッテリーです。バッテリーの廃棄は、お住まいの自治体の指示に従ってください。

デバイスについて

技術仕様

Recon Jetの技術仕様は、http:/www.mikimoto-japan.com/recon/product/jet/spec.htmlをご覧ください。

適合情報

FCCクラスBデジタルデバイス適合性

本装置は、米国連邦通信委員会（FCC）規則第15部に規定されたクラスBデジタルデバイスに関する規定に基づいて試験を受け、適合することが認定されています。この規制は、住宅に設置した状態で有害な干渉に対して適切な防護を提供することを目的としています。この装置は高周波を発生、利用しており、外部へ放射する場合があります。説明書に従わない設置および使用がなされた場合は、無線通信に対して有害な干渉が生じることがあります。ただし、いかなる設置状況においても電波障害が起こらない保証はありません。この装置がラジオまたはテレビの受信に有害な電波障害を引き起こしているかどうかは、装置をオンオフすることで確認できます。電波障害の解決には、以下に挙げた方法のうちいずれか1つまたは複数の方法をお試しください：

- 受信アンテナの向きや設置場所を変更する。
- 装置と受信機の距離を離す。
- 受信機が接続されているコンセントとは回路の異なるコンセントに装置を接続する。
- 販売店またはテレビ／ラジオの専門技術者に相談する。

この規定に適合する責任を負う当事者から明示的に許可されていないにもかかわらず装置に変更または改造を加えた場合、ユーザーがこの装置を操作する権限は無効になることがあります。

FCC適合宣言

Jet（FCC ID: ZW5009）はFCC規則CRF 47第15部下位区分Bおよび下位区分C – 第15.249項に準拠しています。本デバイスの使用の際には下記の2つの条件が適用されます：

- 本デバイスは有害な干渉を引き起こしてはならない。
- 本デバイスは、意図しない作動を引き起こす可能性のある干渉を含め、他のあらゆる干渉も許容しなければならない。

カナダ産業省適合性

Jetはカナダ産業省（IC）番号9717A-009の認証を受けています。本デバイスは、カナダ産業省ライセンス免除RSS基準に適合しています。本デバイスの使用の際には下記の2つの条件が適用されます: （1）本デバイスは有害な干渉を引き起こしてはならない。 および（2）本デバイスは、意図しない作動を引き起こす可能性のある干渉を含め、他のあらゆる干渉も許容しなければならない。

Cet appareil est conforme avec les normes de l'Industrie Canada-sans les standards RSS （s）. L'utilisation est soumise aux deux conditionssuivantes: （1） cet appareil ne peut pas provoquer d'interférences et （2） cet appareil doit accepter toute interférence, y compris les interférences qui peuvent causer un mauvais fonctionnement de l'appareil.

日本の電波法および電気通信事業法適合性

Jet（R: 202-SMC093, T: D 14-0053 202）は、日本の電波法（MPT安全規則No. 37,1981）及び電気通信事業法（第56条、第1項）に適合しています。

RCMマークは、デバイスがACMA（オーストラリア通信メディア庁）技術標準（電気通信、無線通信、EMCおよびEME）に、電気装置安全要求が適合する状態と区域と共に適合していることを示しています。

MFI著作権情報

「Made for iPhone」とは、電子機器アクセサリーがiPhoneとの接続専用にデザインされ、開発者がApple社の性能基準に合致していると認めていることを意味しています。Apple社はこのデバイスの作動、またはその安全性および規制機関の基準を順守していることに、責任を負いません。このアクセサリーをiPhoneに使用すると、無線性能に影響を及ぼす場合があることにご留意ください。

iPhoneは米国およびその他の国に登録されたApple Inc.の商標です。

ANDROID著作権情報

Android™はGoogle Inc.の商標です。

BLUETOOTH SMART READY著作権情報

Bluetooth®の単語とロゴはBluetooth SIG, Inc.の登録商標であり、この商標の使用について
Recon Instrumentsは許可を得ています。その他の商標および商号は、それぞれの所有者に属しています。

WIFI著作権情報

Wi-Fi®という用語はWi-Fi Alliance®の登録商標です。

ANT+ 認証

本製品はANT+™ 認証を受けています。

20150611

Copyright 2015 株式会社美貴本. All Rights Reserved.